



Japan Society for Tobacco Control

日本禁煙学会

<http://www.jstc.or.jp/> E-mail desk@nosmoke55.jp
〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 30-5-201
Tel 03-5360-8233 FAX 03-5360-6736

電子タバコとのデュアルユースは紙巻きタバコ単独喫煙より有害

(註:デュアルユース=紙巻きタバコと電子タバコを併用すること)

2021/4/26

スタントン・グランツ UCSF 教授

(日本禁煙学会理事 松崎道幸・訳)

クリシャ・レディ氏は、American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine に「Respiratory Symptom Incidence Among People Using Electronic Cigarettes, Combustible Tobacco, or Both(電子タバコ、紙巻きタバコ、デュアルユース別呼吸器症状頻度)」と題した論文を発表した。それによれば、デュアルユースにより呼吸器症状発生オッズ比が倍増したという(調整 OR 2.22, 95% CI 1.79-2.75)。これは紙巻きタバコだけ使用者よりも有意に高いリスクだった(OR 1.24, 95% CI 1.00-1.55)。 <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33857396/>

この結果はこれまでに報告された電子タバコの呼吸器影響と合致している。これは紙巻きタバコと電子タバコのデュアルユーザーが電子タバコ単独ユーザーの2倍(2.7%対1.4%)いることを考えるなら重要な知見である。電子タバコにスイッチした人々の多くが紙巻きタバコから「完全にスイッチしておらず」、紙巻きタバコ喫煙に加えて電子タバコも使用しているという事実を証明している。

この研究では、デュアルユースの理由は調査されていないが、おそらく若者の場合、まず電子タバコに手を出し、その後紙巻きタバコ喫煙も始めるというゲートウェイ効果をもたらされたのだろう。大人は禁煙しようと思って電子タバコにスイッチしたが両方ともやめられなくなっているものと思われる。

レディ氏はFDAとNIHのPopulation Assessment of Tobacco and Health (PATH) Study 長期的データセットを用いて人々を追跡しており、この種の疫学研究としては最も高い統計パワーを持つ。呼吸器症状のない時期から追跡を開始し、その後呼吸器症状が出現した場合、電子タバコあるいは紙巻きタバコ使用状態との関連を検討している。若者と成人の両方を対象としているが、成人を対象にした補助的解析でも同様の結果が得られている。

興味深いことに、これらのリスクはダルマ・バッタ氏と私の追跡調査で明らかになった電子タバコと肺疾患の関連と同じ大きさすなわち 1.29(1.03-1.61)だった。これは現在喫煙と過去喫煙を調整した結果である。われわれの研究では、電子タバコと紙巻きタバコの影響は独立であることが見出された。これは同様の成績がBircanらの紙巻きタバコ非使用者の追跡調査で出されている。(MS. Electronic cigarette use and its association with asthma, chronic obstructive pulmonary disease (COPD) and asthma-COPD overlap syndrome among never cigarette smokers. *Tob Induc Dis.* 2021 Apr 7;19:23. doi: 10.18332/tid/132833. PMID: 33841062;)

電子タバコだけ使用者でも呼吸器症状が増加している(調整 OR 若者 1.17, 95% CI 0.79-1.74、成人; 1.19, 95% CI 0.62-2.26)が有意ではない。しかし、成人の呼吸器症状増加度は、PATH コホートを用いたダルマ・バッタ氏と私の追跡調査で得られた 1.29(95%信頼区間 1.03~1.61)という数字の信頼区間内に入っている。

FDA などの機関は、電子タバコによって公衆の健康が適切に守られると考えているのだろうが、電子タバコ使用者の多くがデュアルユースであるという現実に留意すべきだろう。つまり、紙巻きタバコだけ喫煙時よりも健康被害が大きくなるということだ。結局、若者にニコチン依存症を広め、喫煙者が禁煙することを遅らせ、FDA が認証した禁煙治療を受けさせないという結果をもたらす。電子タバコの実際の使用状況を見ると、さらに大きな健康被害が電子タバコ使用によってもたらされていることになる。

オリジナル論文: Reddy KP, Schwamm E, Kalkhoran S, Noubary F, Walensky RP, Rigotti NA. Respiratory Symptom Incidence Among People Using Electronic Cigarettes, Combustible Tobacco, or Both. *Am J Respir Crit Care Med*. 2021 Apr 15. doi: 10.1164/rccm.202012-4441LE. Epub ahead of print. PMID: 33857396.